

## 研修受講者募集のご案内

ホームページより 7/20 (金) まで申し込みできます



# その人らしさを尊重した 看取りを行うために 高齢者施設ナースにできること

**【企画意図】** これまで多くの方が病院で最期を迎えていました。しかし高齢社会に続く多死社会を目前に、すべて病院で看取することは困難で、一人ひとりがどこでどのように人生の最期を迎えるか病院以外の場所を考えなくてはなりません。特別養護老人ホーム等高齢者ケア施設においても、利用者の希望を尊重した最期を実現するための支援が求められています。厚生労働省では、特別養護老人ホーム等における、看取り介護の体制構築・強化に向けて PDCA サイクルの活用を推奨しています。本研修は、高齢者ケア施設等での看取りの看護実践力の評価や PDCA サイクルの活用法、介護職員との連携ノウハウなどを学び、質の高い看取りの実践を目指せるように企画いたしました。

**【講師】** 聖隷クリストファー大学看護学部 教授 大村 光枝 氏



### 【学習目標】

1. 地域包括ケアシステムにおける高齢者ケア施設の役割と地域啓発の必要性について理解を深める。
2. 高齢者ケア施設における看取り介護の PDCA サイクルと看護職の役割との関連について理解を深める。
3. 高齢者ケア施設の看取りを看護の視点から評価する必要性と方法について知識を深める。
4. 高齢者ケア施設での看取りにおける看護職の役割と看護実践力向上のための方策について知識を深める。
5. 介護職との看取りにおける円滑な連携のコツについて理解を深める。

### 【学習内容】

講義 1 : 地域包括ケアシステムにおける高齢者ケア施設の位置づけ、看取り介護の PDCA サイクルなど。

演習 1 : ①看取り介護の PDCA サイクルの諸項目について自施設の看取りを評価し、  
具体的な課題を見出す (個人)

②課題解決に対する看護所職の役割をグループディスカッションする

講義 2 : 演習で各自評価した自施設の看取りの状況と先行研究の結果との比較、  
まとめ。

講義 3 : 高齢者ケア施設の看護師に求められるマネジメント能力、看取りの看護実践  
能力の評価とその意義、看護実践能力評価尺度の活用方法など。

演習 2 : ①看取りの看護実践能力尺度による自己評価とチームに対する他者評価

②自己の課題とチームの課題の確認と改善策についてグループディスカッションする

講義 4 : 介護職との円滑な連携のコツ、看取りに関わる職員の精神的負担とその対応など。

質疑応答



コーディネーターが支援!

次ページに昨年度受講生の声を掲載しています。

## 昨年度受講者の声

### 地域包括ケアシステムにおける高齢者ケア施設の役割と地域啓発の必要性について

- ・個人がその人らしく生きるには大切なシステム！
- ・看護から発信していきたいと思う。
- ・病院勤務なので施設のことはあまりわからなかったが、役割や必要性が理解でき参考にしたい。

### 高齢者ケア施設における看取り介護の PDCA サイクルと看護職の役割との連携について

- ・看取り時に本人・家族が安心して迎えらるるようするために大切な事と思う。
- ・当病棟では PDCA サイクルの C、A ができていないことに気づけた。評価をしていきたい。
- ・グループワークで他施設の取り組みや意見も聞け、自分たちの役割を再確認し考えた。

### 高齢者ケア施設の看取りを看護の視点から評価する必要性と方法について

- ・アセスメントを早期に行い段階を踏んでいきたい。
- ・看取り期の見極めと家族説明のタイミングは、皆判断に困っているのだと思った。
- ・認知症をもつ方のターミナルケアは多く、客観的な評価が大切。

### 高齢者ケア施設での看取りにおける看護職の役割と看護実践力向上のための方策について

- ・看取りになるであろう患者がいた場合、スタッフや家族・他職種との話し合い（カンファレンス）の橋渡しや方向性の舵取りをうまくやりたい。
- ・グループワークの結果と調査結果を結び付けて説明して頂けたので分かりやすかった。

### 介護職との看取りにおける円滑な連携のコツについて

- ・介護職と一緒に利用者に関わることで、カンファレンスを共にすることで理解を深められる。
- ・恐れる心を支えるという項目がとても印象に残った。
- ・パンフレットがわかりやすかったので理解しやすかった。